株主メモ

事業年度	毎年４月１日から翌年３月31日まで
定時株主総会	毎年６月
剰余金の配当の基準日	期末配当　毎年３月31日 中間配当　毎年９月30日
定時株主総会基準日	毎年３月31日
株主名簿管理人 特別口座　口座管理機関	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社　証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1　電話　0120-232-711（通話料無料）
同郵送先	〒137-8081　新東京郵便局私書箱第29号 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社　証券代行部
公告方法	電子公告 電子公告掲載 URL　https://www.kissei.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
上場取引所	東京証券取引所　市場第１部

【お知らせ】

ご注意

1．株主様の住所変更、配当金の振込のご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱ＵＦＪ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2．特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱ＵＦＪ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱ＵＦＪ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱ＵＦＪ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

3．未受領の配当金につきましては、三菱ＵＦＪ信託銀行本支店でお支払いいたします。

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

明日の健康を見つめる
キッセイ薬品工業株式会社

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080

VEGETABLE OIL INK

第76期
KISSEI REPORT

中間報告書　2020.4.1-2020.9.30

上高地　河童橋から望む焼岳

キッセイ薬品工業株式会社

独創的な新薬を研究開発し、世界の人びとの健康に貢献します。

代表取締役会長
最高経営責任者　神澤隆雄

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第76期第2四半期（2020年4月1日から2020年9月30日まで）の事業の概況をご報告させていただきます。

今後とも、株主の皆様の一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

経営ビジョン

世界の人びとの健康に
貢献できる独創的な
医薬品を開発し提供する
創薬研究開発型企業を目指す

当期の概要

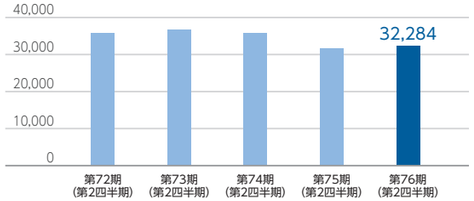
当第2四半期連結累計期間における医薬品業界は、後発品使用促進策等の医療費抑制策の進展に加え、昨年10月の消費税率引上げに伴う薬価改定に続き、本年4月にも薬価改定が実施され、新薬創出・適応外薬解消等促進加算の加算要件が拡充されるものの、後発品への置換え率に基づく長期収載医薬品の薬価引下げがより厳格化されるなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。また、情報サービス業界、建設請負業界、物品販売業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、IT投資が加速化する一方で設備投資に対する慎重姿勢は強まり、また、個人消費も一部に持ち直しの動きが見られるものの回復の足取りは鈍く、依然として厳しい競争環境下にありました。

当社は、経営理念、経営ビジョンの実現に向けて、経営環境の変化に対応し、本年4月よりスタートさせた中期経営計画「PEGASUS」を推進することにより、経営基盤の強化と企業価値の向上を図って参ります。

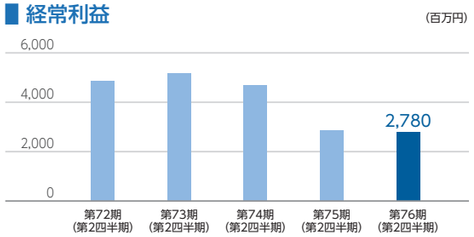
ガバナンス体制につきましては、本年6月に開催された定時株主総会において、独立社外取締役が1名追加選任され、独立社外取締役は計3名となりました。また、統合報告書を新たに作成し、9月末に発行いたしました。財務情報に加え、ESG等の非財務情報を統合してご報告するツールであり、皆様よりご評価を頂きながら、今後の当社の取り組み強化に繋げて参ります。

第2四半期業績推移

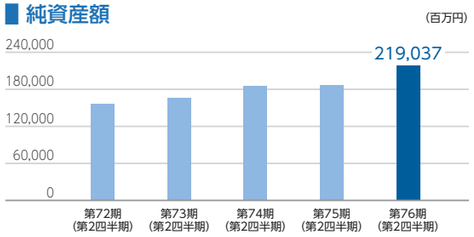
売上高



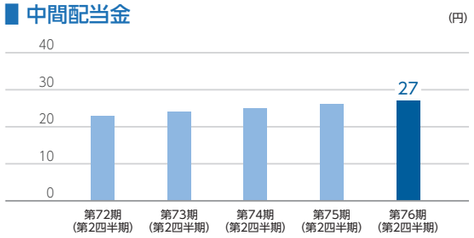
経常利益



純資産額



中間配当金



通期の見通し

連結業績見通し　(単位：百万円)

	第75期 2020年3月期実績	第76期 2021年3月期見通し	対前期増減額	増減率(%)
売上高	63,234	68,000	4,766	7.5
営業利益	1,857	800	△1,057	△56.9
経常利益	2,429	2,100	△329	△13.5
親会社株主に帰属する当期純利益	2,817	4,600	1,783	63.3

●売上高

当初見通しより2,500百万円増額の68,000百万円（前年度比7.5％増収）に修正いたします。

第2四半期連結累計期間の業績、新規導出テーマの契約一時金ならびに新型コロナウイルス感染症の影響などを加味した見直しを行いました結果、医薬品事業におきまして2,200百万円の増額、情報サービス事業におきまして1,200百万円の増額、建設請負事業におきまして400百万円の減額、物品販売事業におきまして500百万円の減額といたしました。

●利益

第2四半期連結累計期間におきましては、当初計画と比べ、売上高の増加に加え、売上原価率が低減し、更には新型コロナウイルス感染症の影響を受け、医薬情報活動の自粛などに伴う営業活動経費の未費消、海外提携先への契約料支払いタイミングの繰延べなどにより、販売費及び一般管理費が減少いたしましたことなどから、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は当初見通しを上回りました。年度後半では、売上原価率の当初計画からの上昇を見込んでおります一方、新型コロナウイルス感染症の影響を加味した見直しを行いました結果、前半に引き続き、医薬情報活動の見直しなどに伴う営業活動経費の低減、海外提携先へのマイルストン支払いタイミングの繰延べなどにより、販売費及び一般管理費の減少を見込んでおります。

通期の利益見通しにつきましては、営業利益は当初見通しより5,400百万円増額の800百万円（前年度比56.9％減益）、経常利益は当初見通しより5,400百万円増額の2,100百万円（前年度比13.5％減益）、親会社株主に帰属する当期純利益は当初見通しより1,500百万円増額の4,600百万円（前年度比63.3％増益）の見通しであります。なお、年度後半の営業外損益ならびに特別損益におきましては、投資有価証券売却益として1,100百万円の特別利益を見込んでおります。

研究開発の状況

当社の取り組み

経営ビジョンである「世界の人びとの健康に貢献できる独創的な医薬品を開発し提供する創薬研究開発型企業を目指す」の実現のため、研究開発における重点領域を定め、積極的に研究開発投資を行うことにより、新薬創出と開発の加速を図っております。また、安定的な海外収益基盤の構築に向けて、創製品の技術導出による国際展開を推進しております。

研究開発の状況につきましては、丸石製薬株式会社と共同開発を行っております透析患者におけるそう痒症治療薬MR13A9（開発番号、一般名：ジフェリケファリン）につきまして、国内第Ⅲ相臨床試験を開始いたしましたほか、引き続き各テーマの研究開発を推進し、開発段階のステージアップを図っております。

このほか、本年10月には当社が創製いたしましたパーキンソン病治療薬KDT-3594（開発番号）につきまして、中国、台湾、香港、マカオ及び東南アジア6ヵ国（シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、ベトナム、フィリピン）における独占的な開発権及び販売権等をアファメドセラピューティクス社（香港）に許諾する契約を締結いたしました。

中央研究所（長野県安曇野市）

第二研究所（長野県安曇野市）

製剤研究所（長野県安曇野市）

上越化学研究所（新潟県上越市）

●自　社

（2020年11月現在）

開発段階	開発番号（一般名）	開発区分	予定適応症	主な作用等	備考
第Ⅲ相	KPS-0373 （ロパチレリン）	導入品／塩野義製薬	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン（TRH）作用	第Ⅲ相臨床試験終了 PMDAと協議中
	CCX168 （アバコパン）	導入品／ビフォー・フレゼニウス・メディカル・ケア・リーナル・ファーマ（スイス）	顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症	補体C5a受容体阻害作用	第Ⅲ相臨床試験終了
	AJM300 （カロテグラストメチル）	導入品／EAファーマ 共同開発	潰瘍性大腸炎	α4インテグリン阻害作用	
	R788 （ホスタマチニブ）	導入品／ライジェルファーマシューティカルズ（アメリカ）	慢性特発性血小板減少性紫斑病	チロシンキナーゼ阻害作用	
	MR13A9 （ジフェリケファリン）	導入品／丸石製薬 共同開発	透析患者におけるそう痒症	κオピオイド受容体刺激作用	
第Ⅱ相	KLH-2109 （リンザゴリクス）	創製品	子宮内膜症	GnRHアンタゴニスト	
	KDT-3594	創製品	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激作用	

●導　出

（2020年11月現在）

開発段階	開発番号／一般名	提携企業	権利地域	予定適応症	主な作用等
承認申請中	ミチグリニド (mitiglinide)	エーザイ（日本）	アセアン *1	2型糖尿病	速効・短時間型 インスリン分泌促進作用
	シロドシン (silodosin)	エーザイ（日本）	アセアン、インド、スリランカ *2	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1Aアドレナリン受容体拮抗作用
第Ⅲ相	KLH-2109 (linzagolix)	オブシーバ（スイス）	日本、一部のアジアを除く全世界	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト
	KLH-2109 (linzagolix)	オブシーバ（スイス）	日本、一部のアジアを除く全世界	子宮内膜症	GnRHアンタゴニスト
第Ⅱ相	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ（アメリカ）	日本を除く全世界	喘息の急性発作	β2アドレナリン受容体刺激作用

＊1：申請中：ベトナム
＊2：申請中：アセアン2ヵ国

事業別の概況

医薬品事業

当第2四半期の医薬品事業の売上高は、28,394百万円（前年同期比6.9％増）となりました。新型コロナウイルス感染症の影響により限られた医薬情報活動となりましたが、過活動膀胱治療薬「ベオーバ錠」、腎性貧血治療薬「ダルベポエチン アルファBS注JCR」、高リン血症治療薬「ピートルチュアブル錠」及び「ピートル顆粒分包」などの売上が増加いたしましたことに加え、本年4月に販売移管が行われました男性における夜間多尿による夜間頻尿治療薬「ミニリンメルトOD錠25μg/50μg」、夜尿症・中枢性尿崩症治療薬「ミニリンメルトOD錠60μg/120μg/240μg」及び「デスモプレシン製剤」、糖尿病治療薬「マリゼブ錠」の寄与などにより、増収となりました。

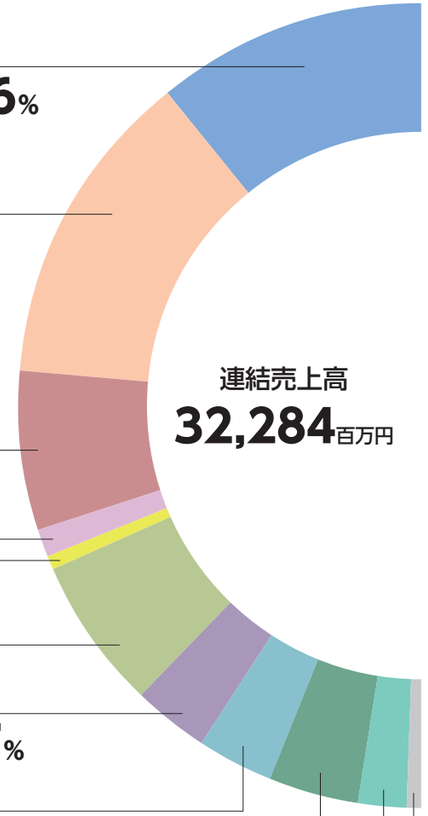
情報サービス事業・建設請負事業・物品販売事業

情報サービス事業：連結子会社キッセイコムテック株式会社がコンピュータシステムの設計・開発、情報処理業務、ネットワーク構築及びクラウドサービスを提供しております。その他、情報機器レンタル事業及び医療・介護・教育等を支援するシステム・サービスの提供を行っております。非連結子会社株式会社プロスが製薬・化粧品などの業種向けに生産管理システムの設計、開発及び販売を行っております。売上高は2,396百万円（前年同期比25.7%減）となりました。

建設請負事業：連結子会社ハシバテクノス株式会社が建設業を営んでおります。その他、設備機器の運転、維持管理に関する業務を受託しております。売上高は1,179百万円（前年同期比39.0％増）となりました。

物品販売事業：連結子会社キッセイ商事株式会社が資材を仕入れ販売しております。その他、麺類の製造販売及び保険代理業を営んでおります。売上高は314百万円（前年同期比65.7％減）となりました。

製商品のご紹介



主な医療用医薬品

泌尿器科用薬剤 21.6%
・ベオーバ錠 過活動膀胱治療薬
・ミニリンメルト、他※ デスモプレシン製剤
・ユリーフ 排尿障害改善薬

腎・透析科用薬剤 25.8%
・ピートル 高リン血症治療薬
・エポエチンアルファBS注JCR 腎性貧血治療薬
・ダルベポエチン アルファBS注JCR 腎性貧血治療薬
・フルスタン錠 活性型ビタミンD_3製剤

代謝内分泌科用薬剤 12.9%
・グルベス 糖尿病治療薬
・グルファスト 糖尿病治療薬
・マリゼブ錠 糖尿病治療薬
・ベザトールSR錠 高脂血症治療薬

産婦人科用薬剤 1.8%
・ウテメリン 切迫流・早産治療薬
・ゾラデックス1.8mgデポ 子宮内膜症治療薬

眼科用薬剤 1.1%
・リザベン点眼液 アレルギー性結膜炎治療薬
・リズモンTG点眼液 緑内障・高眼圧症治療薬

その他の薬剤 12.7%
・サラジェン 口腔乾燥症状改善薬
・レクタブル注腸フォーム 潰瘍性大腸炎治療薬
・リザベン アレルギー性疾患治療薬
・ガスコン 消化管内ガス駆除剤

ヘルスケア食品 5.7%
介護・高齢者向け食品
・新スルーキング i
・のみや水
・おかゆケアスルー
エネルギー補給食品
・カップアガロリー
たんぱく質調整食品
・ゆめごはん
栄養補助食品
・えねぱくゼリー

その他 6.3%
（国内販売提携先供給額等）

情報サービス事業 7.4%

建設請負事業 3.7%

物品販売事業 1.0%

※ミニリンメルトOD錠25μg/50μg/60μg/120μg/240μg、デスモプレシン点鼻液0.01％協和、デスモプレシン・スプレー2.5協和/10協和、デスモプレシン注4協和

連結財務諸表

●四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	前第２四半期（2019年９月30日現在）	当第２四半期（2020年９月30日現在）	前期（2020年３月31日現在）	科目	前第２四半期（2019年９月30日現在）	当第２四半期（2020年９月30日現在）	前期（2020年３月31日現在）
（資産の部）				（負債の部）			
流動資産	98,106	91,598	96,677	流動負債	14,888	15,639	17,024
固定資産	122,803	174,883	135,117	固定負債	18,698	31,804	21,800
				負債合計	33,587	47,444	38,824
有形固定資産	25,007	24,271	24,605	（純資産の部）			
				株主資本	143,984	146,618	143,435
無形固定資産	1,475	1,514	1,511	その他の包括利益累計額	42,858	71,898	49,029
				非支配株主持分	478	520	504
投資その他の資産	96,319	149,097	108,999	純資産合計	187,322	219,037	192,970
資産合計	220,909	266,481	231,794	負債純資産合計	220,909	266,481	231,794

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	前第２四半期（2019年４月１日から2019年９月30日まで）	当第２四半期（2020年４月１日から2020年９月30日まで）	前期（2019年４月１日から2020年３月31日まで）
売上高	31,548	32,284	63,234
売上原価	12,850	16,188	28,328
売上総利益	18,698	16,096	34,905
販売費及び一般管理費	16,364	14,051	33,048
営業利益	2,334	2,044	1,857
営業外収益	678	758	1,430
営業外費用	155	22	859
経常利益	2,857	2,780	2,429
特別利益	28	2,940	2,264
特別損失	16	9	62
税金等調整前四半期（当期）純利益	2,870	5,711	4,630
法人税、住民税及び事業税	403	969	390
法人税等調整額	286	340	1,351
四半期（当期）純利益	2,179	4,401	2,888
非支配株主に帰属する四半期（当期）純利益	28	4	71
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益	2,150	4,396	2,817

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	前第２四半期（2019年４月１日から2019年９月30日まで）	当第２四半期（2020年４月１日から2020年９月30日まで）	前期（2019年４月１日から2020年３月31日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,989	△1,262	13,934
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,238	△8,669	490
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,205	△1,288	△4,419
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額	9,544	△11,221	10,004
現金及び現金同等物の期首残高	49,315	59,319	49,315
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	58,859	48,098	59,319

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

TOPICS

2型糖尿病治療薬「マリゼブ®」

本年2月に当社とMSD株式会社（以下「MSD」）は、MSDが製造販売している2型糖尿病治療薬「マリゼブ®錠25mg/12.5mg（一般名：オマリグリプチン、以下「マリゼブ®」）」について、当社に販売移管することを決定し、当社は4月より販売を開始いたしました。「マリゼブ®」の製造販売承認についてはMSDが引き続き保有しておりますが、将来的には、当社が承継することで合意しており、両社でその準備を進めてまいります。

「マリゼブ®」は、週1回投与の持続性選択的DPP-4阻害薬として2015年11月に世界に先駆けて日本で発売され、多くの2型糖尿病患者さんにご使用いただいております。今回の販売移管により当社はMSDと協力して、「マリゼブ®」が引き続き患者さんと医療従事者のニーズに応えていけるよう取り組んでまいります。

統合報告書2020発行

当社は本年9月に企業の財務情報と非財務情報を統合して年次報告する「統合報告書2020」を新たに発行いたしました。財務情報に加え、経営理念、価値創造プロセス、トップメッセージ、中長期的な経営方針、SDGs・ESGへの取り組み等の非財務情報を発信することにより、投資家などのステークホルダーに当社の理解を深めていただくとともに、適正な評価を獲得することを発行の目的としております。

国内上場会社が発行する報告書には、法令等で開示が求められて発行するものと任意で発行するものがあります。当社が任意で発行する報告書としては、「CSR報告書」や株主向けの「KISSEI　REPORT」などがあります。今後、統合報告書を毎年発行することで、国連の定めた持続可能な社会の実現のための共通目標であるSDGsの活動についても情報発信することとなります。

また、企業価値向上に向けた投資家との建設的な対話のために、統合報告書をツールの一つとして活用し、コミュニケーションを深めるとともに、投資家の評価を当社の取り組みに活かすことで、プレゼンス向上を図ってまいります。なお、本報告書は当社ホームページにも掲載しております。

株式の状況 （2020年９月30日現在）

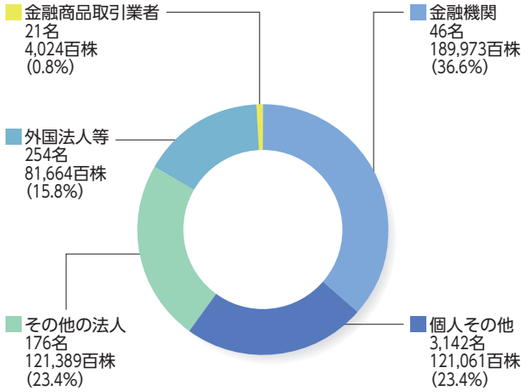
発行可能株式総数	227,000,000株
発行済株式の総数	51,811,185株
株主数	3,639名（前期末比293名増）
大株主	

株主名	持株数	持株比率
第一生命保険株式会社	32,000千株	6.8%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	29,592	6.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	24,551	5.3
株式会社八十二銀行	23,333	5.0
株式会社みずほ銀行	18,334	3.9
有限会社カンザワ	16,782	3.6
神澤陸雄	15,416	3.3
キッセイグループ従業員持株会	12,399	2.7
鍋林株式会社	12,223	2.6
株式会社長野銀行	11,260	2.4

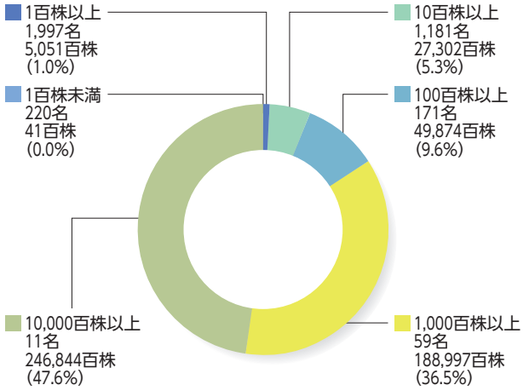
(注) 1．当社は自己株式5,095,070株を保有しておりますが、上記大株主には記載しておりません。
2．持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●株価チャート

●所有者別分布



●所有株数別分布



会社概要 （2020年９月30日現在）

社名	キッセイ薬品工業株式会社
英文社名	KISSEI PHARMACEUTICAL CO., LTD.
設立	1946年（昭和21年）８月９日
資本金	24,356,653,478円
主要な事業内容	医療用医薬品の研究・開発・製造・販売
従業員数	1,470名

事業所

本　　社
〒399-8710
長野県松本市芳野19番48号
電話（0263）25-9081

東京本社
〒103-0022
東京都中央区日本橋室町一丁目８番９号
電話（03）3279-2761

東京本社（小石川）
東京都文京区小石川三丁目１番３号

支　　店
北海道支店、東北支店、関越支店、東京支店、
神奈川支店、松本支店、東海北陸支店、関西支店、
中四国支店、九州支店
(注) 支店の下に50営業所を設置しております。

工　　場
松本工場、塩尻工場

研究所
中央研究所・第二研究所・製剤研究所
(長野県安曇野市)
上越化学研究所
(新潟県上越市)

ヘルスケア事業センター
(長野県塩尻市)

●役員

代表取締役会長	神澤陸雄	取締役	相良純徳
代表取締役社長	降簱喜男	取締役	北原孝秀
取締役副社長	佐藤公衛	社外取締役	清水重孝
専務取締役	福島敬二	社外取締役	野村稔
常務取締役	竹花泰雄	社外取締役	内川小百合
常務取締役	高山哲	常勤監査役	伊佐治正幸
取締役相談役	両角正樹	監査役	米窪眞人
取締役	松下英一	社外監査役	中川寛道
取締役	菊池伸次	社外監査役	岩渕道男

Information

ホームページのご案内

当社のホームページにて、タイムリーな情報を提供しています。是非アクセスしてください。

アドレスはこちら↓
https://www.kissei.co.jp/

以下の報告書をホームページに掲載しています。

CSR報告書 2020

環境やCSRに関する取り組みを「CSR報告書」としてまとめています。

Annual Report 2020

統合報告書の英語版として海外投資家向けに掲載しています。

資料請求のご連絡先：広報部 TEL：0263-25-9523
（土・日・祝日、当社休日を除く月～金 8：40～17：20）